

山形新聞 2025.04.22(2面)

山形新聞社の許可を得て掲載

伝統継承 期待に応える

新庄志誠館高 開校準備室開所



看板を掲げる米野和徳県教育次長(中央左)と大山建一
新庄北校長(同右) ー新庄市・新庄北高

新庄市の新庄北高(大山建一校長)と新庄南高(森美千子校長)を統合し、2026年4月に開校する「新庄志誠館高」の開校準備を進めていく。

新高校の定員は全日制が

普通科120人、探究科80人の計200人、定時制が普通科40人。全日制は新庄北の校舎を改修して使用。定時制は27年度から新庄南の校舎を活用し、夜間から昼間に移行する。

開校準備室は開校準備委員会の事務局として位置付けられ、両校の職員ら10人で構成する。新高校の設備や備品の準備、移転計画、校歌と校章の制定などを担う。

開所式には関係者11人が出席し、米野和徳県教育次長が「輝かしい開校を迎えることができるよう協力をお願いする」、大山校長が「北高125年、南高111年の歴史と伝統を受け継ぎ、期待に応えられるよう努めていく」と話した。

(松浦悠人)